

弱溶剤2液反応硬化型ウレタン系シーラー

# DIA

# ダイヤ ガンコシーラーマイルド

F☆☆☆☆

## ■ 特 長

- 旧塗膜への付着性に優れています。
- 下地への浸透・強化を兼ね備えています。
- 弱溶剤ですので環境に優しく、旧塗膜を傷めません。
- 耐久性が抜群で、屋根の塗り替えにも適用できます。

## ■ 用 途

荷 姿：15kg(基材：14kg/硬化：1kg)セット

新築から改修まで広範囲な用途に対応できます。

### 1. 新築下地

コンクリート、モルタル、PC板、GRC板、押出し成型板(薄型・厚型)ケイカル板など

### 2. 改修下地

#### ● 一般外壁・サイディングボード面

単層弾性、吹付タイル、スタッコ、リシン、アクリルエナメル、ウレタンエナメル、エマルジョン塗料(EP)、塩化ビニルエナメル(VP)など

※フッ素エナメル面の改修には適用できません。

#### ● 屋根面

スレート系屋根瓦(波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト)

※厚形スレート瓦、コンクリート瓦(モニエル瓦等)、アスファルトシングル及び

金属系屋根瓦の改修には適用できません。

### 3. 上塗適合性

各種弱溶剤仕上材 ダイヤアクリスフィラー

# ダイヤガンコシーラーマイルド

## 施工工程

### ●新築・改修一般施工

(23℃ 50%RH)

工程	材料名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	下地調整	新築下時：素地は表面の含水率10%(pH10以下)になるまで十分に放置し乾燥させて下さい。 汚れや付着物はブラシ、研磨紙、布等を用いて除去して下さい。 改修下地：脆弱な部分または浮きや剥離部分は充分除去して下さい。*1 コンクリートの欠けやひび割れ、鉄筋発錆による損傷はきちんと補修して下さい。						
2	下塗り	ダイヤガンコシーラーマイルド 無希釈	A液(基材) 14kg B液(硬化剤) 1kg	0.1~0.3kg /㎡ 50~150㎡/セット	1~2 *2	2時間以上 3日以内	2時間以上 3日以内 *3	刷毛、 ローラー、 エアレス

\*1 低汚染形アクリルシリコンエナメル面は塗装できない場合がありますので、ご相談下さい。

\*2 下地表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は2回塗布し固着して下さい。

\*3 低温時の工程間隔時間は16時間以上あけて下さい。

## 施工・管理上の注意

### 【塗装面の調整(新設)】

- ①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レイタンス等を完全に除去して下さい。
- ②セメント質下地は、表面の含水率10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ③雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
- ④PCパネル、現場打ちコンクリートの場合

- 1)豆板、木コン、破損箇所、不陸などは、セメントフィラー、セメンシャス#2000、セメンシャス#2500、リマモル#70等の下地調整材を使用し、補修して平滑して下さい。
- 2)表面が緻密でレイタンス層がある場合は、レイタンスを除去し、ダイヤガンコシーラー又は、ダイヤシーラーエポをご使用下さい。

### 【塗装面の調整(新設・改修共通)】

- ①屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置して下さい。
- ②使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。

### 【塗装面の調整(改修)】

- ①既存塗膜の種類によりリフティング(シワ)を生じることがありますので、あらかじめ目立たない箇所を確認して下さい。

### 【材料の保管・管理】

- ①開缶した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- ②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- ③下記の製品は危険物ですので、火気や換気に十分注意して下さい。  
ガンコシーラーマイルド
- ④硬化剤は湿気で硬化しますので、使用後は密栓して保管して下さい。

### 【施工】

- ①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。
- ②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
- ③材料は付着乾燥しますと取れまませんので、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残ったりします。
- ④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
- ⑤コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- ⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- ⑦施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。

- ⑧施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。

- ⑨本施工に入る前に試験塗りをを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。

- ⑩常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。

- ⑪安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。

- ⑫一度に厚く塗ると色割れや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。

- ⑬塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。

- ⑭フッ素や無機系などの難接着塗装処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。

- ⑮可使用時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。

- ⑯使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。

- ⑰乾燥時間は、温度、湿度および、風等により差異が生じます。

- ⑱ガンコシーラーマイルドは2液タイプですので、小分けする場合は調合割合を厳守し、十分混合して下さい。又、混合したものは可使用時間の内に使い切ってください。

### 【安全衛生上の注意】

- ①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。

- ②取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。

- ③子供の手の届かない所に保管して下さい。

- ④作業中・作業後は十分換気を行ってください。

- ⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

- ⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

- ⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

- ⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。

- ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。

- ⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

### 【その他】

- ①その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。

- ②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。

- ③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

(\*23.10月現在) 23.10.100 SJ